

館長のガラストーク

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

「静」と「動」—県内ガラス作家5人展—のご案内

今回は勝央町で活躍している野上真理子さんの作品を紹介します。

野上真理子さんはガスバーナーでガラス棒を溶かして作品を作る「バーナーワーク」の作家です。主に妖精や動植物をモチーフにした精緻なガラス作品を作っています。今回は素材として耐熱ガラス（ホウケイ酸ガラス）とソーダガラス（ソーダ石灰ガラス）の2種類を使っています。

耐熱ガラスの方は、酸素バーナーを使って約2000℃の高温で作業をします。炎を外すとガラスがすぐ固まりますが、やり直しができるので、一発勝負のソーダガラスよりは少し気が楽だったようです。ただ、ランの花が付いた高さ20cmほどの香水瓶を滑らかに仕上げるのは容易なことではなかったし、外国製の色ガラスは色がきつすぎるので、ガラスの粉末を使って微妙な色合いや細やかなグラデーションを生み出す所に強い集中力が必要だったといいます。

ソーダガラス（今回はウランを含む妖精の森ガラス）の方は、通常はエアバーナーを使いますが、今回は酸素バーナーを使用しています。こちらはガラスが柔らかくなっている時間が長いので丹念な作業ができる反面、何度もあぶり直しができないので一発で形を決めなければなりません。妖精の森ガラスを使うということで、蛍光しやすいよう普段より少し厚めにした所に苦労があったようです。

野上さんはガラス作りを始めてまだ10年経っていませんが、今年の春、東京銀座のギャラリーで個展を開いたり作品が専門誌の表紙を飾るなど、その急成長ぶりがガラス関係者の注目を集めています。



野上 真理子
「灼炎 夕霧 永遠と一瞬Ⅱ」



野上 真理子
「妖精の森」

〈展覧会情報〉平成28年度夏～秋期企画展
「静」と「動」—県内ガラス作家5人展—のご案内
会期：平成28年7月13日（水）
～12月5日（月）まで

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話（0868）44-7888

鏡野町有線テレビからのお知らせ

インターネットの調子がおかしいと思ったら

インターネットが遅い、接続できない等問題が発生した場合は、パソコン・ルーターの調子が悪くなっていることがあります。一度パソコン・ルーターの再起動をお願いします。ルーターのコンセントを抜き、10秒ほど経過した後、挿し直せば再起動します（ルーターの起動には2分ほどかかる場合があります）。

パソコン・ルーターを再起動したにも関わらず、インターネットに接続できない場合は、鏡野町有線テレビまでご連絡ください。



お問い合わせ先

〒708-0421 鏡野町井坂495

電話（0868）52-2213 FAX（0868）52-9080

お問い合わせ時間：午前9時から午後5時

（土・日・祝日、夏季休暇、年末年始休暇を除く）

※鏡野町有線テレビは平成27年4月1日から鏡野光サービス（株）が維持・運営を行っています。

鏡野町有線テレビホームページ <http://www.mto.ne.jp/>

平成28年度 鏡野郷土博物館講演会

演題：「倭城のはなし（仮題）」

講師：行田裕美 先生
（前津山市生涯学習部部長）

日時：平成28年10月2日（日）
14：00～15：30

会場：ペスタロッツ館 夢ホール
（鏡野町竹田663-7）

主催：鏡野町教育委員会・鏡野郷土博物館

その他：聴講無料

事前申し込みの必要もありません

豊臣秀吉の朝鮮出兵（文禄・慶長の役）の際に、日本軍が朝鮮半島南部に建設した日本式の城郭「倭城」は、近年日韓両国で関心が高まっています。行田先生が現地で見た倭城の実態、そして近年の調査研究の動向をお話しします。

お問い合わせ先

電話（0868）54-7733（生涯学習課）担当・日下